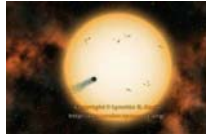




TOHOKU UNIVERSITY

# 熱真空チャンバー装置

地球物理学専攻 惑星プラズマ・大気研究センター



1. 宇宙空間環境（高真空～ $10^{-4}\text{Pa}$ ～ $10^{-6}\text{Torr}$ ～10億分の1気圧、かつ低温～ $-190^\circ\text{C}$ ）を実現し、人工衛星や惑星探査機に搭載する機器の動作検証試験を行う。
2. 低温真空環境により熱輻射を低減させ、赤外観測機器の開発を行う。

主な仕様表

項目	数値等
真空ポンプ	ターボ分子・BOC EDWARDS STP-A803C/A1303C
到達真空度（ターボ起動後1時間半、非冷却時）	$6.8 \times 10^{-4}\text{Pa}$
リーク（実測結果）	$7 \times 10^{-11}\text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ 以下
シュラウド塗装	エアログレイズZ306
光学窓	2カ所
ヒーター	100V-100W, フィードバック制御
温度計測点	6カ所（K型3, T型3）
ハーメチックコネクタ	21P, 8P, BNCx5

